



海の生き物が泣いている！？

～ 私たちができること～

Q.ウミガメのお腹の中から見つかったものは何でしょう？



※写真はイメージ

A.プラスチックごみ

ウミガメや鯨などの海の生き物が、海に漂うプラスチックごみを誤って飲み込んでいる事例が多数確認されています。

現在、世界中で年間800万tものプラスチックごみが、海に排出されていると言われており、世界各国では使い捨てプラスチック等への対策に乗り出しています。日本も「第4次循環型社会形成基本計画」を閣議決定し、①プラスチック使用の削減②徹底的かつ効果的・効率的な回収・再生利用③環境への負担が少ない素材の使用等を総合的に推進する姿勢です。

環境・廃棄物リサイクルフェアでは、世界や国内の取り組みのほか、私たち一人ひとりや地域で取り組める身近な事例(マイバッグの活用・ごみ拾い活動への参加)等についても講演でお話いただきます。次世代を担う子どもたちに、美しい環境を引き継ぐためにも、皆さんも共にこれらの問題について考えてみましょう。



環境・廃棄物 リサイクルフェア

2月20日 **Wed. 水**
14:00～ (13:30 開場)
アプラホール(大ホール)

ごみを焼却処理する泉北クリーンセンターで、ライター・ガスボンベ・電池などの発火性危険物等がごみに混入していたことが原因と考えられる火災や爆発事故が発生し、施設や機器が損傷する被害がありました。被害が大きい場合には、復旧に時間がかかり、ごみの搬入や処理ができなくなる恐れもあります。

火災や爆発の原因となる発火性危険物等の分別と出し方は、下記を参考に、ごみを適正に処理してください。



発火性危険物等の 分別と適正な出し方

●使い捨て ライター



中身を使い切って空の状態でも可燃ごみへ

●カセットボンベ



※穴開けは不要
中身を使い切って空の状態でも資源ごみへ

●スプレー缶



※穴開けは不要
中身を使い切って空の状態でも資源ごみへ

●乾電池



不燃ごみへ

講演



「昨今の資源循環行政の動向について
(海洋プラスチック問題等)」

環境省 環境再生・資源循環局

総務課長 **土居 健太郎 氏**

昨今の廃棄物を巡る動向について、なかでも「海洋プラスチック問題」の現状から私たちにできることを考えます。

発表

「環境・闊達・和のステーション-節水・健康・水-」

高石市婦人団体協議会

有価物集団回収優秀団体表彰式

環境・廃棄物リサイクルポスター表彰式

リユース品 無料抽選会

落語

桂 坊枝 氏

※内容は変更となる場合があります

暁光雄氏も出演予定！そのほか、環境・廃棄物リサイクルポスターや各種パネル、リユース品などを展示しています。

問合先 生活環境課 ☎(275)6266